

社会情勢の変化と技術革新を見据えた震災対策の在り方

— 火 災 予 防 審 議 会 答 申 —

令 和 3 年 3 月

火 災 予 防 審 議 会
東 京 消 防 庁

はじめに

東京都は、都市構造や人口構造など、社会構造の大きな変革期を迎えております。

東京消防庁では、東京都の地震被害想定等による被害予測を基に、各種減災対策を推進してきたところでありますが、今後の社会構造等の変化によって、被害様相も大きく変わることが予想されます。そのため、地震の被害や対策について、将来に向けた新たな視点から目を向けることが重要です。また、近年、発展が著しい新技術によって、地震への備えのさらなる充実が期待されることから、新技術の導入を見据えた、新たな震災対策のあり方を検討することも重要となっています。

こうした状況を踏まえて、東京都知事から火災予防審議会に対して「社会情勢の変化と技術革新を見据えた震災対策の在り方」について諮問がなされ、2年間にわたる審議及び検討を経て、ここに答申を頂きました。

本答申では、推進する「4つの力」を礎とした、今後目指すべき消防機関による震災対策の在り方に加え、新技術を導入し、活用していくための具体的な準備について提言を頂いております。

東京消防庁では、本答申を踏まえ、激変する社会構造に適応し、減災に資する新技術導入のための基盤の構築を進めてまいります。

結びに、ご多忙の中、本答申のためにご尽力いただきました火災予防審議会の中林会長、長谷見副会長、地震対策部会の糸井川部会長をはじめ、各委員や関係者の皆様に深くお礼申し上げます。

令和3年3月

東京消防庁

消防総監 安藤俊雄

ま え が き

東京都では、2025年に人口のピークを迎え、それ以降は減少に転じることや、少子高齢化がより進行することなど、これまでにない社会構造の変化が訪れると考えられています。また、第4次産業革命とも呼ばれるAIやIoTなどをはじめとした新技術の発展によって、社会に大きな変化が訪れることも予想されています。

このような情勢の中、東京都知事から火災予防審議会に対して「社会情勢の変化と技術革新を見据えた震災対策の在り方」について諮問を受けました。

地震対策部会では2年間の審議を通して、消防機関がこれまで行ってきた震災対策に加えて、新技術の活用で新たな震災対策を展開すること、消防機関、住民、自治体、関係機関等が一体となった、効果的な震災対策を東京都全体で取り組んでいくことについて、提言にとりまとめました。また、これらの対策を実現するために今後必要な取組みの重要性についても言及しています。

本答申が、今後の社会の変革に適応した、新たな震災対策に反映され、地震時における被害軽減への一助となることを強く望むものであります。

おわりに、本審議会の答申にあたり、ご協力いただきました委員の皆様、関係各方面の方々に深く感謝申し上げます。

令和3年3月

火災予防審議会

地震対策部会

部会長 糸井川 栄一

社会情勢の変化と技術革新を見据えた震災対策の在り方

目 次

第 1 章	諮問と審議の概要	
第 1 節	諮問の内容	1
第 2 節	審議会の概要	3
第 3 節	審議の方針等	6
第 4 節	用語の定義・解説	8
第 2 章	将来社会像の設定	10
第 3 章	地震時の問題抽出	
第 1 節	将来社会像における地震時の問題の検討	48
第 2 節	有識者へのアンケート調査	60
第 4 章	地震時の問題の解決方策の検討	
第 1 節	地震時の問題から技術へのニーズまでの検討	82
第 2 節	技術者等へのヒアリング調査と消防・防災対策への応用	109
第 5 章	新型感染症による影響の検討	128
第 6 章	提言	
第 1 節	はじめに	144
第 2 節	動向を注視すべき新たな地震時の問題について	145
第 3 節	技術革新を見据えた震災対策のあり方	148
第 4 節	将来の震災対策への在り方に向けた準備	155
巻末資料		
1	アンケート結果	161
2	将来社会における地震時の問題の解決表	231